
インフラマネジメントをテーマとした高専生対象のコンテストが誕生
「インフラテクコン2020」開催決定

繁栄か、廃退か
街の未来は君たちの「技術」と「アイデア」に託された
高専生 挑戦せよ！

インフラマネジメントテクノロジーコンテスト実行委員会は今年度、高専生を対象に、インフラマネジメント・メンテナンス技術や地域協働のアイデアを競うオンラインコンテスト「インフラマネジメントテクノロジーコンテスト」（略：インフラテクコン）を初開催します。

※インフラマネジメントテクノロジーコンテスト実行委員会は、公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会インフラマネジメント研究部会、および土木技術者を中心とするNPO 法人シビル NPO 連携プラットフォーム（公益社団法人土木学会 100周年を記念して発足）を母体とし、インフラマネジメントに関心のあるメンバーで構成されています

背景

日本では今、多くのインフラが老朽化し、更新投資の増大が見込まれています。一方、少子高齢化や人口減少、自然災害の激甚化と頻発など、変わりゆく社会課題への対応も急務です。また、所有から利用・共有へのニーズの変化も見られます。

こうした中でインフラの役割やあり方は大きく変わっていくと考えられます。全国画一的な仕様ではなく、地域ごとのニーズや将来像を実現するための新たな価値やサービスを創造・提供するとともに、その方策としての地域共創・協働を推進する役割が求められるのではないのでしょうか。

それらを実現するプレイヤーとして、また、地域関係者のコミュニケーターとして、地域に根差した高等専門学校と、地元と技術に深い愛情を持つ高専生がキーパーソンになると考え、本コンテストを企画いたしました。



インフラテクコンロゴ

コンテスト概要

1) 競技概要

安心してまちに住み続ける方法と、みんなでまちやインフラを守る方法について、地域との協働や革新的な技術・アイデアを競うオンラインコンテストです。

「協働促進」と「技術・アイデア」の2部門を、共通テーマとして「広報」「合意形成」「住民参加」「省力化・合理化技術」「代替サービス」「仕組み」の6テーマを設定しています。部門はどちらか1つを選択し、テーマは複数選択が可能です。

部門	サブテーマ
「協働促進」 地域がインフラマネジメントやメンテナンスに参加する	広報
	合意形成
	住民参加
「技術・アイデア」 インフラマネジメントやメンテナンスの課題を解決する	省力化・合理化技術
	代替サービス
	仕組み

<特徴>

“協働”を重視するコンテストのため、多様な主体との連携を認めています。

例) 地元自治体、地域企業、他校などとも連携可能

2) スケジュール

2020年9月	募集開始
2020年10月15日	一次審査
2020年12月20日	最終審査
2020年2月	入賞報告会（日本ファシリティマネジメント協会フォーラムにて予定）

3) 運営

共催 : インフラマネジメントテクノロジーコンテスト実行委員会

(NPO 法人シビル NPO 連携プラットフォーム公認事業)

社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会

人生100年社会デザインセンター（2020年10月設立予定）

後援 : 国土交通省、国立高等専門学校機構、土木学会（2020年8月5日現在）

協力 : 日本ファシリティマネジメント協会タスクフォース

(お問い合わせ先)

インフラマネジメントテクノロジーコンテスト実行委員会事務局（アイセイ株式会社内）

03-6806-7281 / info@infratechcon.com / 東京都荒川区西日暮里2-40-3

担当：岩佐、岡野